

J-クレジット制度 モニタリング報告書 （森林管理プロジェクト用）

プロジェクトの名称：川場村グリーンバリュープログラム（GVP）に
よる豊かな森づくり

プロジェクト 実施者名	川場村
----------------	-----

検証申請日 平成 30 年 11 月 5 日

認証申請日 平成 30 年 11 月 12 日

1 プロジェクト計画の変更

1.1 プロジェクト計画の変更

プロジェクト計画書からの変更	<input type="checkbox"/> 前回の認証申請日以降から変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 前回の認証申請日以降から形式的な変更あり ※1 <input type="checkbox"/> 変更届を制度管理者へ提出済み <input checked="" type="checkbox"/> 認証申請の際に変更届を制度管理者へ提出する予定 <input type="checkbox"/> 前回の認証申請日以降から形式的な変更以外の変更あり ※2
----------------	---

※1 制度管理者へ提出した又は提出する予定の変更届の写しを検証機関に提出すること。

※2 形式的な変更以外の変更がある場合には、変更内容を記載したプロジェクト計画変更届を作成し、検証機関に提出すること。

1.2 森林経営計画又は森林施業計画の変更

森林経営計画又は森林施業計画の変更	<input type="checkbox"/> プロジェクト登録申請日又は前回の認証申請日以降変更なし <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト登録申請日又は前回の認証申請日以降変更あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の内容が変更された ※1 <input type="checkbox"/> 新たに認定された ※2 <input type="checkbox"/> その他 ()
-------------------	--

※1 変更後の森林経営計画又は森林施業計画の写しを制度管理者に提出していない場合には、本紙に添付して提出すること。

※2 【FO-002（植林活動）について】適用条件3に「検証申請時まで、プロジェクト実施地が森林経営計画又は森林施業計画に含まれること。」とあり、プロジェクト登録申請日以降に認定された場合は、ここにチェックし、認定された森林経営計画又は森林施業計画の写しを本紙に添付して提出すること。

2 認証を申請する期間

2.1 認証対象期間及び過去の認証状況

認証対象期間 ※1	平成 27 年 4 月 1 日 ~平成 35 年 3 月 31 日	
過去の認証状況 ※2	第 1 回	平成 27 年 4 月 1 日 ~平成 28 年 3 月 31 日 (117 t-CO2)
	第 2 回	年 月 日 ~ 年 月 日 (t-CO2)
	第 3 回	年 月 日 ~ 年 月 日 (t-CO2)
	第 4 回	年 月 日 ~ 年 月 日 (t-CO2)
	第 5 回	年 月 日 ~ 年 月 日 (t-CO2)

※1 認証対象期間は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日から、同日より 8 年を経過する日若しくは 2031 年 3 月 31 日のいずれか早い日までの間で設定すること。

※2 過去に吸収量の認証を受けている場合には、各期間と認証されたトン数を記載すること。認証回数
の増加に併せて適宜行を追加して記載すること。

2.2 本報告において認証を申請する期間

認証を申請する期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~平成 30 年 3 月 31 日
期間の妥当性 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2.1 の認証対象期間内である ■ 過去の認証済み期間と重複がない ■ 検証申請日以降の期間が含まれていない ■ 他の類似制度への認証申請の対象期間と重複がない

※1 全項目を満たすことを確認すること。

3 吸収量

3.1 モニタリング結果の概要 ※1

モニタリング方法の変更	<input type="checkbox"/> 変更あり ※2 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし
モニタリングの頻度	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画書に記載したモニタリング計画に記載された頻度を満たした <input type="checkbox"/> プロジェクト計画書に記載したモニタリング計画に記載された頻度を満たしていない (「満たしていない」を選択した場合、その概要及び講じた対応を記載すること)

※1 モニタリング結果の詳細は別紙 (B.1) に記載すること。

※2 1.1 において記載した変更のうち、モニタリング方法やモニタリングエリア及びモニタリングプロットに関する変更がある場合については、本項目を選択すること。

3.2 吸収量の算定

ベースライン	吸収量 ※1	0 t-CO2
プロジェクト実施後	吸収量 ※1	230.7 t-CO2
	排出量 ※1	t-CO2
吸収量 ※2		230 t-CO2
吸収量の累計 ※3		230 t-CO2

※1 ベースライン吸収量及びプロジェクト実施後吸収・排出量は、小数点第二位以下は四捨五入し、小数点第一位まで記載すること。また、算定結果の詳細は別紙 (B.2) に記載すること。

※2 吸収量については小数点第一位以下を切り捨てし、整数で記載すること。

※3 認証対象期間の吸収量の累計値を記載すること。なお、バッファーを差し引く前の吸収量の累計値とする。

4 プロジェクト計画書の添付

※ 登録済みのプロジェクト計画書を添付すること。